

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年5月22日

広島県知事 様

提出者

住所 広島県竹原市西野町1625番地

氏名 株式会社 中国工業開発

代表取締役 岡田 和洋

電話番号 0846-29-1111

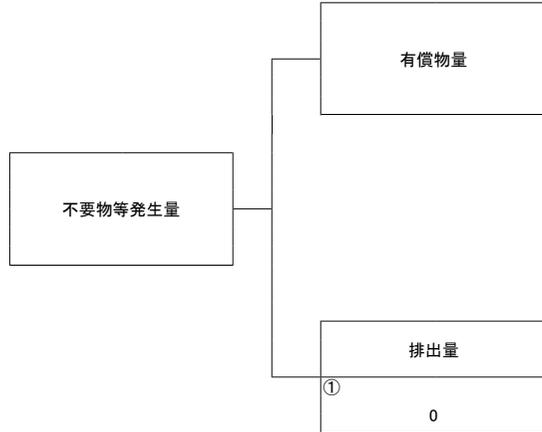
広島県生活環境の保全等に関する条例第85条第2項の規定により、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 中国工業開発		
事業場の所在地	広島県竹原市西野町1625番地		
事業の種類	総合建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値		条例別紙4のとおり	
項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

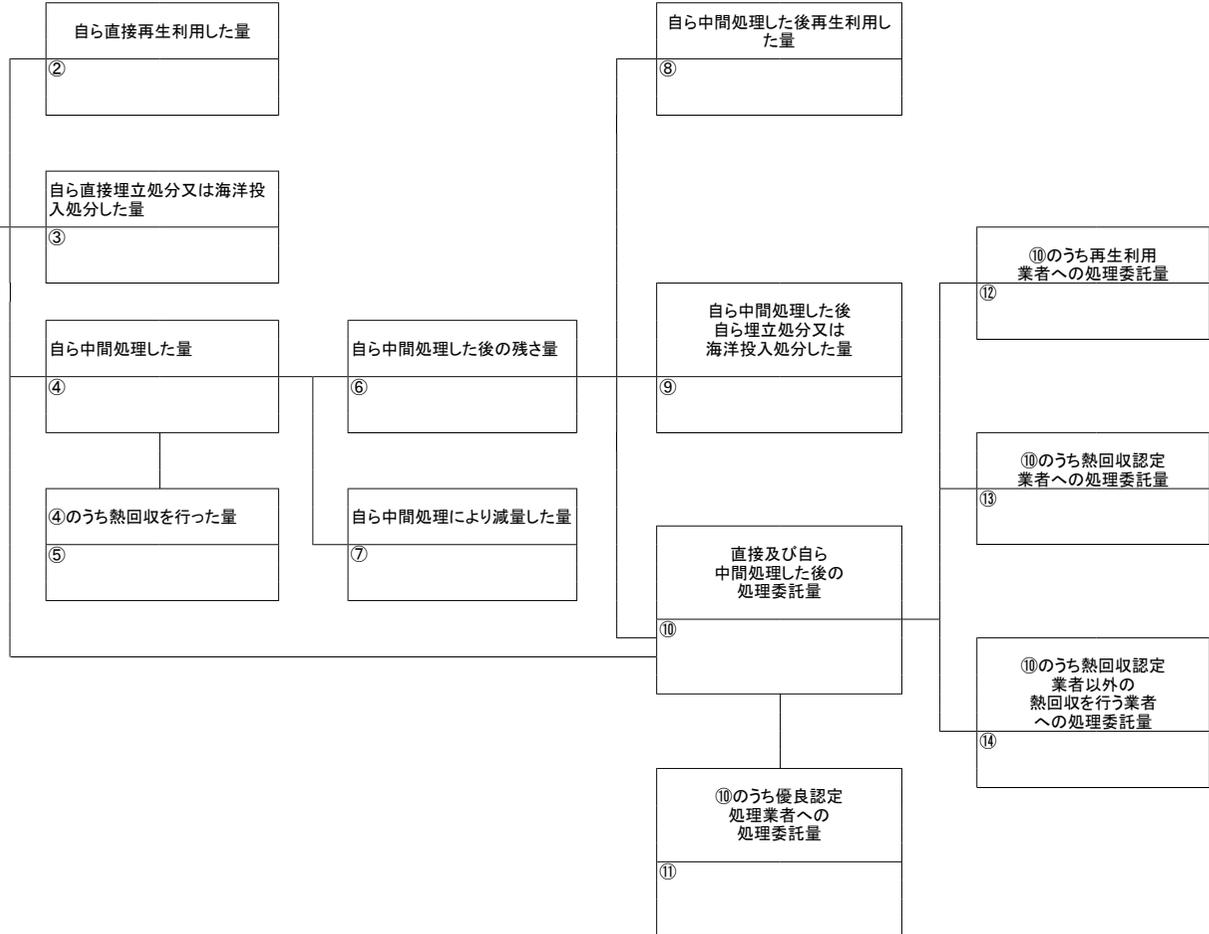
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

条例別紙3のとおり



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

条例別紙3-その1(条例-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)
(令和4 年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後、再生利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻														
汚泥														
廃油	2.55									2.55				
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	22.472									22.472				
紙くず	1.7									1.7				
木くず	197.805						11.55			186.255				
繊維くず	3.49									3.49				
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	42.26									42.26		42.26		
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	14.5									14.5				
鉱さい														
がれき類	2245.43									2245.43		2245.43		
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
廃石膏ボード	3.78									3.78				
建設混合廃棄物	19.812									19.812				
水銀使用製品	0.0701									0.0701				
石綿含有産業廃棄物	6.44									6.44				
廃石綿	1.48									1.48				
合計	2561.7891	0	0	0	0	0	11.55	0	0	2550.2391	0	2287.69	0	0

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。
様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①~⑭)に示す量を表に入力。

別紙3-その2

単位:トン/年

	実 績 値									
	①	②+⑧	⑤	⑦	③+⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
産業廃棄物の種類										
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	2.55	0	0	0	0	2.55	0	0	0	0
廃酸	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0
廃アルカリ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0
廃プラスチック類	22.47	0.00	0.00	0.00	0.00	22.47	0.00	0.00	0	0
紙くず	1.70	0.00	0.00	0.00	0.00	1.70	0.00	0.00	0	0
木くず	197.805	0.00	0.00	11.55	0.00	186.255	0.00	0.00	0	0
繊維くず	3.49	0.00	0.00	0.00	0.00	3.49	0.00	0.00	0	0
動植物性残さ	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0
動物系固形不要物	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0
ゴムくず	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0
金属くず	42.260	0.00	0.00	0.00	0.00	42.260	0.00	42.260	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	14.500	0.00	0.00	0.00	0.00	14.500	0.00	0.00	0	0
鋤さい	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0
がれき類	2245.43	0.00	0.00	0.00	0.00	2245.43	0.00	2245.43	0	0
動物のふん尿	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0
動物の死体	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0
ばいじん	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0
廃石膏ボード	3.8	0.00	0.00	0.00	0.00	3.8	0.00	0.00	0	0
建設混合廃棄物	19.812	0.00	0.00	0.00	0.00	19.812	0.00	0.00	0	0
水銀使用製品	0.0701	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0701	0.00	0.00	0	0
石綿含有産業廃棄物	6.440	0.00	0.00	0.00	0.00	6.440	0.00	0.00	0	0
廃石綿	1.480	0.00	0.00	0.00	0.00	1.480	0.00	0.00	0	0
合計	2561.789	0.00	0.00	11.55	0.00	2550.239	0.00	2287.69	0	0

条例別紙4(条例-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和 4 年度実績)

単位:トン/年

	目標値		実績値
排出量	1050	①排出量	2561.789
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		②自ら直接再生利用した量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		⑤自ら熱回収を行った量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		⑦自ら中間処理により減量した量	11.55
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
全処理委託量	1050	⑩全処理委託量	2550.239
優良認定処理業者への処理委託量		⑪優良認定処理業者への処理委託量	
再生利用者への処理委託量	803	⑫再生利用者への処理委託量	2287.69
熱回収認定業者への処理委託量		⑬熱回収認定業者への処理委託量	
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

産業廃棄物処理計画書

令和5年5月22日

広島県知事 様

提出者

住所 広島県竹原市西野町1625番地

氏名 株式会社 中国工業開発

代表取締役 岡田和洋

電話番号 0846-26-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 中国工業開発
事業場の所在地	広島県竹原市西野町1625番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙1, 2のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(4年度)実績量

計画：今年度(5年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥																				
廃油	2.55	0									2.55	0								
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	22.472	15									22.472	15								
紙くず	1.7	1									1.7	1								
木くず	197.805	100					11.55				186.255	100								
繊維くず	3.49	2									3.49	2								
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	42.26	20									42.26	20			42.26	20				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	14.5	10									14.5	10								
鉱さい																				
がれき類	2245.43	1000									2245.43	1000			2245.43	1000				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
廃石膏ボード	3.78	3									3.78	3								
建設混合廃棄物	19.812	15									19.812	15								
水銀使用製品	0.0701	1									0.0701	1								
石綿含有廃棄物	6.44	5									6.44	5								
廃石綿	1.48	0.5									1.48	0.5								
合計	2561.7891	1172.5	0	0	0	0	11.55	0	0	0	2550.2391	1172.5	0	0	2287.69	1020	0	0	0	0

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	令和4年度(令和4年5月1日～令和5年4月30日)
③従業員数	16人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等, 別紙を参照)

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 受注する土木・建築工事により発生する為、抑制は困難であるが、今年度より木くずに関しては自社中間処理を行いバイオマス燃料等再資源化に努めている
②計画	(今後実施する予定の取組) 受注工事内容により発生する廃材が異なる為、計画を立てることな困難である。平成30年西日本豪雨災害発生後の集中豪雨災害に係る復旧工事、今後起きうる天災への対応・耐震補強工事・インフラ整備工事(水道管布設替え等)の発注増に伴う産業廃棄物増は次年度以降も否めない。但し木材の処理に関しては自社中間処理にて再資源化に努める。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 適正な分類を行い搬出している
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状を維持する

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 堰堤工事等にて発生する伐採木・建築現場での建設廃材は、自社リサイクルプラントにて破碎処理を行いバイオマス燃料等再資源化に取り組む
②計画	(今後実施する予定の取組) 現状を維持する

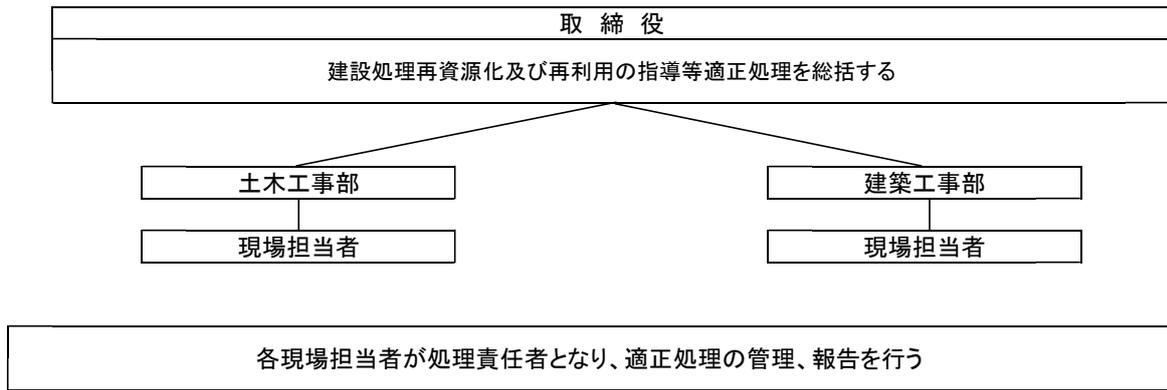
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

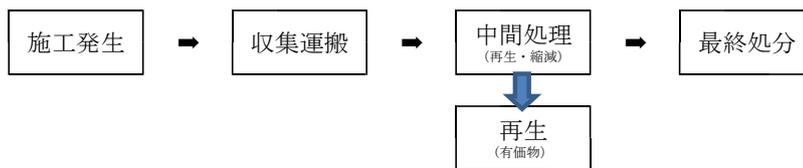
管理体制図



条例-産業廃棄物処理計画書

1-④ 産業廃棄物の一連の処理工程

(1-①) 自社運搬の場合(処分業者処理施設へ搬入)



(1-②) 自社運搬の場合(自社中間処理処理施設へ搬入)



(2) 運搬委託の場合(積替保管許可を有する業者)

